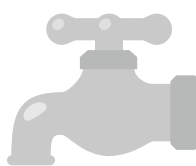


災害時 上下水道を守る対策とは



平成28年の熊本地震から6年。大きな被害を受けた上下水道施設はライフラインとしての重要性が再認識されました。
熊本市では、施設の耐震化等の防災対策、マンホールトイレの整備等の減災対策等を進めています。
飲み水の備蓄や雑用水のため置き、簡易トイレなど、ご家庭でできる災害への備え、この機会にもう一度見直してみませんか。



～国土交通大臣賞「循環のみち下水道賞」受賞～ マンホールトイレの整備

被災時の避難所等でのトイレ確保のため、マンホールトイレの整備を進めています。熊本市地域防災計画で避難所として位置づけられている、市内の小・中学校および防災拠点のうち、下水道区域内にある施設を対象に設置を行っています。

熊本市内の小中学校58校に

※令和3年度末時点
290基を整備



ご家庭での備え

飲み水などの備蓄を

もしもに
備えて

飲料水は、大人で1日あたり3リットルが必要とされています。3リットル×家族の人数×3日分を目安に飲み水の備蓄をおすすめします。その他にも・・・

- お風呂の残り湯も普段からため置きを。
- 防災グッズの中に折りたたみ式の水タンクなどの容器があると便利です。
- トイレの備えも重要です。段ボールの非常用トイレ等が市販されています。

1人1日3リットル × 家族の人数 × 3日分

～断水時に4m³の水道水を確保～

貯水機能付給水管の整備

貯水機能付給水管は、平時は通常の給水管ですが、地震等災害の断水時はタンクの容量分4m³の水道水が確保され非常用の飲料水として利用できます。

熊本市内の小中学校に

※令和3年度末時点
44基を整備



その他の災害対策

応急給水に必要な設備や資材の整備および確保、停電時に水道設備へ必要な電力を供給する非常用発電設備の整備、各種訓練の実施、災害時の応急復旧及び支援に関する協定の締結などの対策を継続的に実施しています。



応急給水塔と給水車の整備



資材の確保



非常用発電設備の整備



応急給水机上訓練



災害時の応急復旧活動に関する協定



下水道BCP訓練



水道管・配水池などの耐震化

マイボトル1つで
世界が変わる！

限定オリジナルデザインボトルが完成しました



THERMOS



本市が実施している「熊本の水ブランディング」では、SDGsの理念を踏まえ、市民のマイボトル利用促進を目的として、魔法びんのパイオニアである「サーモス株式会社」と連携協定を今年3月25日に締結しました。今後、熊本の豊かな地下水を守るため、さまざまな取り組みを行っていきます。

デザインテーマは「熊本水物語」

熊本の水の豊かさを知り、地下水保全活動について興味を持ってもらうために、限定オリジナルデザインボトルを制作・販売します。描かれている英文字「Kumamoto's Tale of Water」は、熊本水物語という意味。阿蘇で育まれた地下水が、加藤清正公をはじめ先人の知恵と努力によってますます豊富になり、熊本の自然、歴史、文化、産業等さまざまな物語を織り成していることを表現しています。

限定オリジナルボトルの取扱店

- 上下水道局6階 経営企画課(郵送販売可)
 - 熊本城二の丸お休み処
 - 熊本城本丸お休み処
 - 動植物園売店
 - Yahoo!ショッピング「熊本城売店」
- 1個2,000円(税込)(容量:350ml、保温・保冷両対応)

不審なメールにご注意ください！

上下水道局を名乗り「水道料金滞納のため、至急お支払いください。」といった内容のメールが届いたという問い合わせがありました。

上下水道局では、お客さまに対して料金の請求をメールで通知することはありません。

このような不審なメールが届いた場合は、必ず上下水道局お客さまセンターへお問い合わせください。上下水道局お客さまセンター(TEL)096-381-1118